

安全データシート

作成:2000年 5月 29日

改訂:2023年 3月 31日

1. 製品及び会社情報

整理番号	:KF068-06
製品名	:ストロビードライフフロアブル
会社名	:クミアイ化学工業株式会社
住所	:東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	:サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	:03-3822-5180
FAX番号	:03-3823-6830
緊急連絡先	:平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限	:農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性	発がん性	:区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	:区分1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	:区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語:警告

危険有害性情報

- ・発がんのおそれの疑い
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

- ・医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
- ・子供の手の届かないところに置くこと。
- ・使用前にラベルをよく読むこと。

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・環境への放出を避けること。

【応急処置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：メチル＝(E)－メトキシイミノ[2－(オルトトリルオキシメチル)フェニル]アセター
ト／一般名 クレソキシムメチル

成分及び含有量：クレソキシムメチル	50%
<その他> ナフトレンスルホン酸とホルムアルデヒドの重合物のナトリウム塩	< 20%
硫酸アンモニウム	< 15%
リグニンスルホン酸ナトリウム	< 25%
グルコース	< 5%
α－ヒドロ－ω－(オクタデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン)	< 0.1%

官報公示整理番号：化審法・安衛法

(1)-400	硫酸アンモニウム
(8)-209	リグニンスルホン酸ナトリウム
(8)-46	グルコース
(7)-97	α－ヒドロ－ω－(オクタデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン)

CAS No.:	143390-89-0	/	クレソキシムメチル
	9084-06-4	/	ナフタレンスルホン酸とホルムアルデヒドの重合物のナトリウム塩
	7783-20-2	/	硫酸アンモニウム
	8061-51-6	/	リグニンスルホン酸ナトリウム
	50-99-7	/	グルコース
	9005-00-9	/	α -ヒドロ- ω -(オクタデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン)

4. 応急措置

応急措置をする者の保護に必要な注意事項:汚れた衣服は取り替える。

吸入した場合:

安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させ、医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

眼に入った場合:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者への診察を受ける。

医師に対する特別な注意事項:

症状:情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

処置:症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:粉末、泡、噴霧水

使ってはならない消火剤:二酸化炭素

火災時の特有の危険有害性:一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物、硫黄酸化物、酸化ナトリウム、シリカ化合物、ハロゲン化合物

火災の場合、前述の物質/物質グループが放出される可能性がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

追加情報:火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：粉塵を発生させない。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

環境に対する注意事項：土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

少量の場合：粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。

大量の場合：掃き集めるかすくい取る。

粉塵を発生させないこと。法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。

容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項：

粉塵を発生させない。粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

保管

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報：熱から離して保管すること。湿気を避ける。直射日光を避ける。

保管安定性：

保管期間：36 月

内容物は室温で安定している。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

保護具

呼吸用保護具：低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：固体および液体粒子に対して高効率の微粒子フィルタ（例：EN143 P3 型もしくは EN149 FFP3 型）。

手の保護具：長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO

- 374-1) (保護指針 6 に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1 によると、透過時間は 480 分以上であること): ニトリルゴム (0.4mm)、クロロプレンゴム (0.5mm)、ブチルゴム (0.7mm) など。
- 眼の保護具: サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル) (例 EN 166)
- 皮膚及び身体の保護具: 作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等(飛散の場合は、EN 14605 に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982 に従う。)
- 一般的な安全及び衛生対策: 最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 褐色水和性細粒及び微粒
臭い	: 硫黄のような臭い
臭いのしきい(閾)値	: 吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH	: 約 5-8 (20°C)
融点/凝固点	: 溶解せずに分解
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 本品については試験していない。
引火点	: 該当しない、製品は固体である。
蒸発率	: 適用せず
自己発火性	: 自己発火性なし。
自己発熱性	: 自己発熱性物質ではない。
可燃性(固体/ガス)	: 可燃性低い。(EU 指令 84/449/EEC,A.10)
爆発下限及び爆発限界上限界/可燃範囲	
爆発下限界	: 25g/m ³ (VDI 2263)
爆発上限界	: この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
熱分解	: 通常の手扱い条件下で危険分解物なし。
相対ガス密度(空気)	: 適用せず
蒸気圧	: 適用せず
密度及び/又は相対密度	: 約 1.30g/cm ³ (20°C) (OECD テストガイドライン 109)
嵩密度	: 約 630kg/cm ³ (20°C) タンピング後の見かけ密度
溶解度	: 水: 分散可能
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: 適用せず

分解温度	: データなし
動粘性率	: 該当しない、製品は固体である。
粒子性状	: データなし
爆発危険有害事項	: 爆発性なし。
火災を引き起こす性質	: 火災伝播性はない。(UN Test 0.1 (oxidizing solids))

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。
化学的安定性	: 製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 製品安全データシートの第 7 項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。 熱分解: 通常の実取扱い条件下で危険分解物なし。
混触危険物質	: 強酸化剤、強塩基、強酸
危険有害な分解生成物	: 指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。
危険分解物	: 通常の実取扱い条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)

実験または計算によるデータ:

LD₅₀ ラット > 5,000 mg/kg (EU 指令 84/449/EEC,B.1)

死亡なし

急性毒性(吸入)

LC₅₀ ラット > 5.7 mg/l (4時間) (OECD テストガイドライン 403)

死亡なし 煤塵エアロゾルとして試験された。

急性毒性(経皮)

LD₅₀ ラット > 2,000 mg/kg (OECD テストガイドライン 402)

死亡なし

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。吸

入による毒性は実質上なし。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能な GHS ラベルのフレーズ及び 11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:

眼刺激性なし。皮膚刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性/刺激性 ウサギ:(EU 指令 84/449/EEC,B.4)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ:

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

実験または計算によるデータ:

マウスの局所リンパ節試験(LLNA)マウス:(OECD テストガイドライン 429)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意:本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

反復投与毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

魚類	:コイ LC ₅₀ 1.3 mg/l (96 h) ニジマス LC ₅₀ 0.19 mg/l (96 h)
甲殻類	:オオミジンコ EC ₅₀ > 0.25 - < 0.5 mg/l (48 h)
藻類	:緑藻 EC ₁₀ 0.033 mg/l (72 h) (成長率) 緑藻 EC ₅₀ 0.532 mg/l (72 h) (成長率) 緑藻 無影響濃度 0.03 mg/l (72 h)
魚類に対する慢性毒性	:ニジマス 無影響濃度 0.167 mg/l (28日)
水生無脊椎動物に対する慢性毒性	:オオミジンコ 無影響濃度 0.150 mg/l (21日)

移動性

環境区分間の輸送評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報:

クレソキシムメチル

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中に揮発しない。

土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価(水中環境):

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報:

クレソキシムメチル

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報:

クレソキシムメチル

生体蓄積性:

生物濃縮係数:220(28日)、ニジマス(OPP 72-6 (EPA-ガイドライン))生体蓄積性はないと考えられる。

追加情報

その他の環境毒性情報:

水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ

国連番号 : 3077(環境有害物質、固体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第22016号

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

: (2023年4月1日以降)

第一種指定化学物質 445号 クレソキシムメチル

毒物劇物取締法 : 非該当

水質汚濁防止法 : 指定物質(法第2条、施行令第2条第26号:硫酸アンモニウム)

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針

2019年6月 社団法人 日本化学工業協会

3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会

4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

5) BASF ジャパン(株) ストロビードライフロアブル バルク 安全データシート
(2023年3月20日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。